

## 特集／茨城県建設リサイクル

広告

企画・制作 建設未来通信社広告部

## リサイクル資材の積極な活用図る

## 循環型社会の構築へ

2015年の国連総会で「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、限りある資源を効率的に利用して循環型社会の実現を目指す取り組みが世界的に進められている。公共工事でも天然資源を原料とした建設資材が大量に使用・消費されており、県はリサイクル建設資材製品の信頼性・安全性の基準を明確にするため、04年10月に性能規定や率先利用のためのルールを定めた「茨城県リサイクル建設資材評価認定制度」を制定。今年7月15日現在、10品目148資材が認定を受けている。資源循環型社会の構築に向け、今後さらなるリサイクル資材の積極的な活用が期待される。

## ■「茨城県リサイクル建設資材評価認定制度」構築の背景

建設資材は天然資源を原料に製造され、公共工事において大量に使用・消費されてきた。その天然資源採取が環境破壊につながるなど問題視される一方、建設廃棄物の増大は、最終処分場のひっ迫や不法投棄による環境問題を生み出している。近年、リサイクル建設資材

## 評価認定制度の仕組み

## ■認定手続き

申請内容を、評価認定委員会において審議し、基準等を満足する資材を認定

## ■評価基準

公共工事で使用可能な品質・性能および環境に対する安全性を確保するための評価基準を定めて公表

## ■認定資材率先利用

認定された資材を茨城県の公共工事で率先利用  
※茨城県リサイクル建設資材評価認定制度の特徴  
①認定品目を建設資材に限定し、県土木部の共通仕様書に適合した基準を設けている



## 茨城県建設リサイクルの推進にあたり

県土木部技術管理統括監兼  
検査指導課長

久家 良和 氏



平素より、建設副産物の再資源化並びにリサイクル建設資材の有効利用や使用拡大に向け、ご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本県では平成16年10月に「茨城県リサイクル建設資材評価認定制度」を制定し、製品の品質・性能や安全性などの基準及び率先利用のルールを定めることによって、建設副産物を再資源化したリサイクル建設資材を公共工事で優先的に使用できるようにしました。

このような取り組みにより、本県の公共工事における建設副産物の再資源化・縮減率は、現在98.7%と高い水準となり、資源の有効な利用の促進、廃棄物縮減による環境負荷低減の効果が得られるなど、循環型社会の形成に貢献しているところです。

再資源化の一例として、再生加熱アスファルト混合物及び再生路盤材については、評価認定委員会が品質・コスト縮減等に優れていると評価され、全ての公共工事で優先的に使用することになっており、再資源化率がほぼ100%に達しているところです。

リサイクル建設資材については、これまでに22品目の評価基準を策定しており、現在その内10品目で148資材が認定され、制定当初に比べ資材数が約1.5倍にまで広がっております。

今後も、引き続きリサイクル建設資材の認定製品の拡充と利用促進を図ることで、環境負荷の少ない持続可能な社会づくりを目指してまいります。

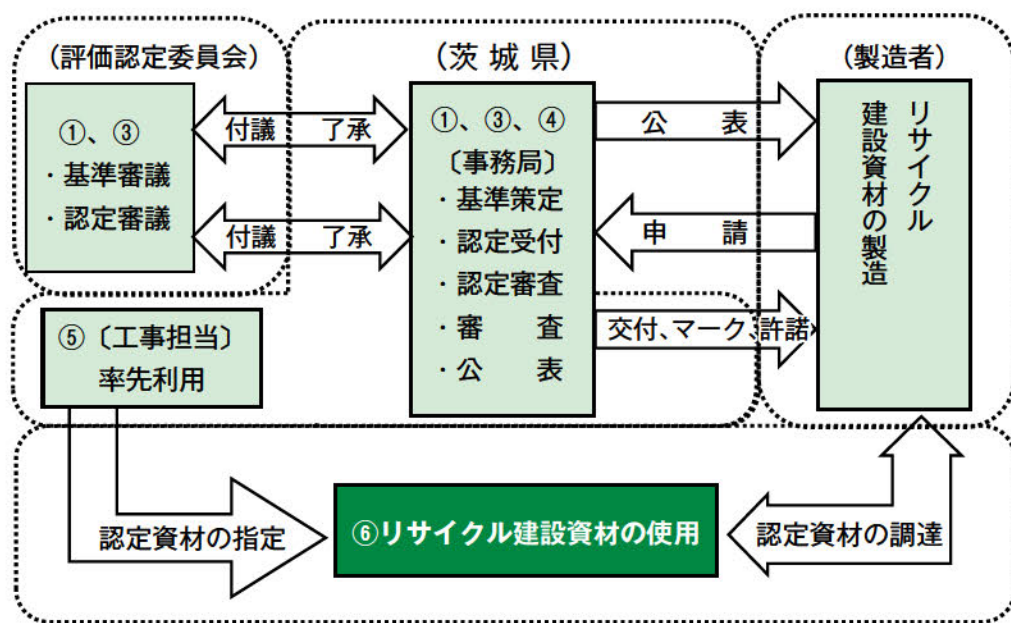
し、県はリサイクル建設資材の利用を促進するため、リサイクル建設資材の品質・性能や環境に対する安全性等の評価基準を定め、それに適合する資材を認定するとともに、率先利用のルールを定めた「茨城県リサイクル建設資材評価認定制度」を2004年10月から運用している。

## ■目的

「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の精神に基づき、循環型社会の構築を目指し、これまで不要物として廃棄されたものを原料として使用したりリサイクル建設資材の使用促進を図る。リサイクル建設資材の一般資材化、リサイクル建設資材の品質・性能等に関する使用時の確認の簡素化・省略化、リサイクル建設資材の公共工事での利用促進、環境負荷低減、コスト縮減などが期待される。

## ■制度の流れ

①県は公共工事での使用を考慮したリサイクル建設資材の評価基準を作成し公表する。策定に当たり、高度な技術的審査および専門知識が必要となるため、有識者からなる評価認定委員会に付議し、了承を得る。  
②認定を申請しようとする者は、申請書に必要書類、試験結果等を添えて認定を申請する（申請書提出先：一）



茨城県リサイクル認定資材一覧

資材の種類	使用している再生資材	認定資材数
再生加熱アスファルト混合物	アスファルト再生骨材、一般廃棄物溶融スラグ骨材	44
再生路盤材	コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊、一般廃棄物溶融スラグ骨材	82
再生コンクリート二次製品	一般廃棄物溶融スラグ骨材	5
再生硬質塩化ビニル管・継ぎ手	使用済塩化ビニル管・継ぎ手	5
建設汚泥から再生した処理土	建設汚泥	2
刈草・剪定枝等を利用した堆肥	刈草、剪定枝	2
木材・プラスチック再生複合材	再生樹脂、木粉	1
再生土木シート	ペットボトル等	2
廃ガラスびん及びガラスくずを利用した土木資材	廃ガラスびん、ガラスくず	2
建設発生土を原料とした改良土	公共工事に伴う建設発生土	3
合計 10品目		148資材

現在（令和3年7月15日時点）、資材の種類が10品目、認定資材が148資材

環境負担の少ない  
持続可能な社会づくりを

茨城県リサイクル建設資材認定  
(再生砕石・第2種処理土)

大泉砕石株式会社

代表取締役 長谷川 雅 弥

〒309-1201 茨城県桜川市大泉 877  
TEL 0296-75-3131  
FAX 0296-76-1128

JR・私鉄 鉄道道床用砕石  
道路用・アスファルト・コンクリート用等各種砕石  
西金砕石（硬質砂岩）採掘直販売  
コンクリート廃材中間処理・再生砕石製造販売

関東商工株式会社

本 社 茨城県水戸市大町 1-2-15  
TEL 029-221-4010 FAX 029-221-4004  
西金工場 茨城県久慈郡大子町西金 477-1  
TEL 0295-74-0611 FAX 0295-74-0883



ISO9001/2015年 ISO14001/2015年  
関東道路株式会社

本社・工場 〒308-0855 茨城県茨西市下川崎635  
TEL 0296-34-1211 FAX 0296-34-1212  
栃木支店 〒321-0226 栃木県下都賀郡生野町中央13-15  
TEL 0286-80-8844 FAX 0286-80-1356  
結城営業所 〒307-0011 茨城県結城市小倉1851  
TEL 0296-38-8038 FAX 0296-34-1225  
URL http://www.kanto-doro.co.jp  
E-mail info@kanto-doro.co.jp

日鉦第一砕石株式会社

代表取締役会長 小河原 欣也  
代表取締役社長 小河原利一郎

本社 茨城県常陸大宮市山方645番地  
TEL 0295-57-6860 FAX 0295-57-2507  
八郷生コン工場 TEL (0299)-43-0361  
第一砕石工場 TEL (0295)-57-9311

## あすを築く

総合建設業 国土交通大臣許可 第1号

株式会社 岡部工務店

代表取締役社長 岡 部 英 明

本 社 / 日立市多賀町二丁目 10 番 7 号  
TEL 0294-36-1681 FAX 0294-32-0248

優良産業処理業者認定制度における茨城県優良認定事業者第1号  
(産業廃棄物収集運搬業/産業廃棄物処分業/特別管理産業廃棄物収集運搬業)

「自然」を守る「資源」と生きる  
株式会社 フルヤ建商

代表取締役 古矢 満

本 社 / 常総市中裏町 579-3 TEL 0297-22-2855  
リサイクルプラント/常総市坂手町 6839 TEL 0297-27-3801

## 一歩先行く“受注戦略”

電子版  
&  
Web版



知りたい情報がとにかく早い

- 外出先からいつでも読める
- 新聞より早く情報入手
- 顧客拡大など営業ツールに最適
- 現場の社員配置も指示

## 「情報先取り」今日の紙面を丸ごと“チェック”

一番の特長は、自宅や外出先から見たいとき、読みたいと思ったときに、いつでもどこでも手軽に閲覧出来るのが最大のメリットです。スマートフォンやタブレットなどの携帯ツールで簡単に読めるため、取引先や元請け、下請け先、現場の職人配置にも利用可能なので、即時にその場で連絡・調整が図れます。また、新規顧客の拡大など営業ツールに最適です。速報性に優れ、いち早く確かな情報を提供します。

「電子版」も「Web版」もご購入者様は

無料サービスです